ふりがな　くりはらし
市町村名　栗原市

◎主な郷土出身者　故 菅原文太（俳優）・宮藤官九郎（脚本家、構成作家、俳優）・高山 広（俳優、劇作家）・三浦明博（小説家、コピーライター）・みなみらんぼう（シンガーソングライター、エッセイスト）・高島大造（元関脇 高望山）・横小奈帆（作・訳詩家、シャンソン歌手）・多田祐子（画家）・高橋千恵美（陸上競技指導者）

市章	市町村ｺｰﾄﾞ	042137	市町村類型	Ⅱ－1

〒987-2293 栗原市築館薬師一丁目7番1号
【TEL】0228(22)1122　【FAX】0228(22)0312
【ＵＲＬ】 https://www.kuriharacity.jp
【E-mail】 somu@kuriharacity.jp

ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ	市民が創る　くらしたい栗原
市木・市花 市鳥・獣等	市木　ヤマボウシ　市花　ニッコウキスゲ

区分	氏名	任期満了年月日	給料等(月額)
市長（２期目）	佐藤 智（さとう さとし）	R11.04.30	9,690百円
副市長	三塚 満（みつづか みちる）	R11.05.17	7,770百円
議長	尾形 勝通（おがた かつゆき）	R11.04.30	4,970百円
副議長	菅原 勇喜（すがわら ゆうき）	R11.04.30	4,300百円

市の概要

（自然条件）
栗駒山麓の豊かな自然の下、迫川が貫流し、伊豆沼・内沼を有している。面積約800平方キロメートルのうち、約8割を田畑と森林が占め、自然や田園の風景が美しい都市。

（産業・経済）
稲作を中心とした農業が基幹産業。高度電子機械、自動車、医療関連のものづくり企業や食品関連をはじめとしたグローバル企業の主要工場、リサイクル産業、小さなモノづくりを続ける家内工業などがある。また、積極的な企業誘致を推進している。

（観光・文化）
栗駒山麓、伊豆沼・内沼、旧奥州街道、近代化産業遺産などの見どころに加えて、イグネに囲まれた屋敷・長屋門やほんにょどの農村景観、餅文化など、農業から育まれた特徴的な文化を体感できる。

（伝統行事・伝統芸能）
国の重要無形民俗文化財の小迫の延年、山車まつり、薬師まつり、鉄砲まつりなど。鶏舞、神楽、八ツ鹿踊りが伝わる。

（特産品）
古くから穀倉地帯として、仙台藩の献上米にもなっていた米の産地。蔵元が複数ある地酒の里。レンコン、イチゴ、ダイコン、カボチャ、自然薯、イワナなどの農林水産物。餅料理、納豆、豆腐など。

（郷土自慢）
豊かな自然環境のもと、自然と共生した暮らしの文化が脈々と受け継がれている。長屋門や神楽、藍染、餅料理など、暮らしのなかにある特徴的な文化や風土を育んだ市民の知恵や工夫といったワザが自慢。

姉妹都市・友好都市(国名・県名)	提携の名称	提携年月日
あきる野市（東京都）	友好姉妹都市	H18.02.10
南投縣南投市（台湾）	姉妹都市	R02.11.23

主な地域開発区域指定状況

過疎　低工　農村　拠点都市　離島
豪雪　特豪　山村　高度技術　リゾート

区分	人口	国調対比人口増加率	うち65歳以上人口	世帯数	うち65歳以上一人世帯数
R7年1月1日住基台帳（うち外国人）	60,518人（794人）	—	25,895人 43.4%	24,837世帯（577世帯）	—
令和2年国調	64,637人	△7.5%	26,331人 40.7%	22,697世帯	3,051世帯 13.5%
平成27年国調	69,906人	△6.7%	25,252人 36.1%	23,133世帯	2,629世帯 11.4%
平成22年国調	74,932人	△6.6%	24,383人 32.6%	23,407世帯	2,234世帯 9.6%

年齢構成比	
15歳未満	8.5%
15歳～64歳	48.1%
65歳以上	43.4%

面積	805.00k㎡
人口密度	75.2人/k㎡

産業別就業人口(R2年)	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能	合計
	4,925人 14.8%	9,214人 27.7%	19,080人 57.4%	— —	33,219人 100.0%

行政区数等	255

有権者数(R7.9月登録日)	男	女	合計	一人当たりの市民所得
	25,552人	26,953人	52,505人	2,239千円

議員	条例定数	現員数(うち女性)	任期	議員報酬(月額)
	24人	23人 (1人)	令和11年4月30日まで	4,010百円

市の沿革

平成17年4月1日　築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村が合併し、栗原市となる。

復興計画の策定状況

復興計画の名称	

基本構想の策定状況

基本構想の名称	第２次栗原市総合計画		
区分	年月日		計画期間
基本構想	(議決)	平成28年12月16日	平成29年度 ～ 令和8年度
基本計画	(策定)	令和3年12月17日	令和4年度 ～ 令和8年度

主要施策の実施・計画状況

R7年度	市町村単独事業	○学校給食費無償化事業 ○少人数学級推進事業 ○公民館整備事業 ○タクシー利用助成事業 ○若柳総合体育館アリーナ改修事業
	県補助事業	○子育て応援医療費助成事業 ○豊かなふる里保全整備事業 ○移住定住支援事業 ○高規格救急自動車整備事業 ○くりはら子どもの学び支援センター事業 ○電気自動車購入支援支援事業
	国庫補助事業	○放課後健全育成事業（放課後児童クラブ） ○社会資本整備総合交付金事業 ○幼稚園預かり保育事業 ○若柳小学校校舎大規模改修事業 ○保管牧草等処理対策事業 ○地域子育て支援センター運営事業
R6年度	市町村単独事業	○学校給食費無償化事業 ○少人数学級推進事業 ○公民館整備事業 ○公共施設最適化推進事業 ○学校給食センター改修等事業
	県補助事業	○子育て応援医療費助成事業 ○豊かなふる里保全整備事業 ○移住定住支援事業 ○消防車両、高規格救急自動車整備事業 ○有害鳥獣減容化処理施設整備事業 ○高規格救急自動車整備事業 ○消防施設等整備事業
	国庫補助事業	○放課後健全育成事業（放課後児童クラブ） ○社会資本整備総合交付金事業 ○幼稚園預かり保育事業 ○若柳小学校校舎大規模改修事業 ○地域子育て支援センター運営事業 ○消防車両整備事業

ふりがな　くりはらし
市町村名　栗原市

区分	R4.4.1現在	R5.4.1現在	R6.4.1現在	R7.4.1現在
全職員数	1,409人	1,389人	1,381人	1,359人
一般行政職一人当たりの住民数	127.2人	126.1人	123.4人	116.4人
一般行政職平均年齢	44歳7か月	44歳9か月	44歳9か月	44歳9か月
一般行政職平均給料	3,180百円	3,170百円	3,209百円	3,237百円

R7年度職員内訳(R7.4.1現在)　一般職員　1,269人（うち一般行政職 520人）
教育公務員　90人

区分	R5年度決算	R6年度決算	R7年度当初予算
歳入	45,740,058千円	44,795,341千円	41,790,000千円
歳出	44,477,405千円	43,259,936千円	41,790,000千円
実質収支	1,073,231千円	1,050,434千円	—
経常収支比率	97.9%	100.8%	—
財政力指数	0.32	0.32	—
財政調整基金残高	7,033,206千円	6,233,628千円	—

区分	R5年度	R6年度	R7年度
標準財政規模	26,715,068千円	26,923,606千円	26,984,132千円

健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
R6年度決算	—	—	7.5%	17.1%

R7年度普通会計歳出予算構成比

議会費	0.7%	土木費	9.8%
総務費	12.1%	消防費	4.3%
民生費	25.8%	教育費	12.5%
衛生費	12.9%	災害復旧費	0.1%
労働費	0.2%	公債費	12.1%
農林水産費	6.0%	諸支出費	-
商工費	3.4%	予備費	0.1%

法適用公営企業	法非適用公営企業
上水道事業、病院事業、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業、個別排水処理事業	—

一部法適用公営企業　—

一部事務組合加入状況　—

保育所	10所	699人	図書館	1館	-	公園	29所	807,943㎡	水道	61,872人	96.3%
幼稚園	10園	645人	公共体育施設	19所	-	市営住宅	941戸	-	下水道	31,371人	-
児童館	-	-	老人福祉ｾﾝﾀｰ	3所	-	歯科医師数	42人	6.5人/1万人	し尿処理	18,981人	30.6%
小学校	11校	2,022人	老人ホーム	13所	-	歯科診療所	28所	-	ごみ処理	17,999t	792g/人日
中学校	6校	1,204人	公民館	18館	-	医師数	102人	15.8人/1万人	道路改良	1,255.1km	75.0%
義務教育学校	1校	341人	集会施設	115所	-	診療所	48所	63床	道路舗装	1,326.8km	79.2%
高等学校	5校	984人	市民会館	4館	-	病院	4院	543床			

組織機構

別紙

1局　8部　44課　5室　10所　3病院

地目別土地利用の状況

田	畑	宅地	山林	原野	その他	合計
16,406ha	2,760ha	3,116ha	28,631ha	1,073ha	28,514ha	80,500ha
20.4%	3.4%	3.9%	35.6%	1.3%	35.4%	100.0%

農業経営体数	主業	準主業	副業的
4,317戸	719戸	879戸	2,719戸
100.0%	16.7%	20.4%	63.0%

販売のあった農業経営体数(単位：戸)	稲作	野菜	花き果実	畜産	その他	複合経営
4,325	3,495	51	11	226	49	493
	80.8%	1.2%	0.3%	5.2%	1.1%	11.4%

農業経営体当たり平均耕地面積(うち田)	農産物販売規模別農業経営体数(単位：経営体) 販売なし	～300万円	～1,000万円	～1億円	それ以上
319a (306a)	124	3,376	649	285	15

林業	国有林	民有林	森林比率
	14,143.65ha	30,041.43ha	55%

水産業(内水面を含む)	漁港数	漁獲量	漁獲高
	— 港	— t	— 百万円

工業	事業所数	従業者数	出荷額等
	137所	5,826人	110,062百万円

商業	事業所数	従業者数	年間販売額
	677店	4,068人	84,468百万円

観光	年間観光客数	1,663,440人

市町村間通勤・通学移動(R2年)	
他市町村からの通勤・通学者	5,158人
他市町村への通勤・通学者	6,052人

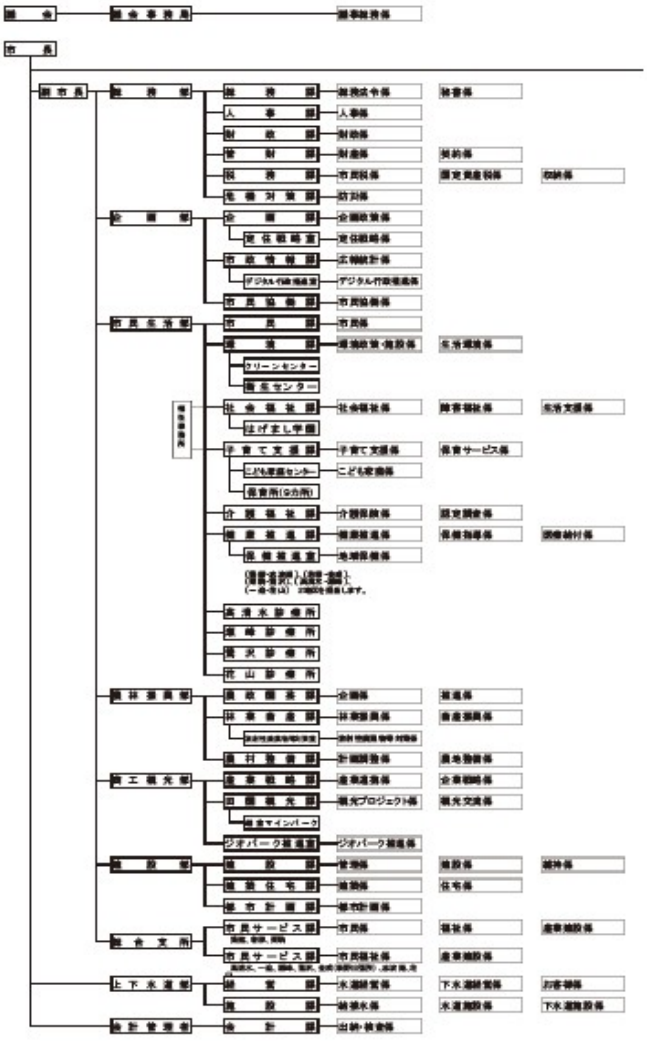
通勤・通学先上位市町村(R2年)	第一位	栗原市 79.4%	第二位	大崎市 7.6%	第三位	登米市 6.2%

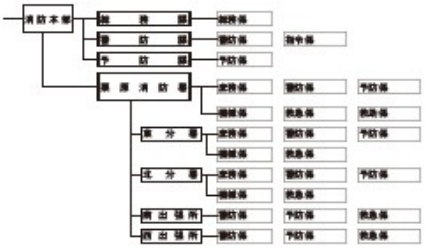
庁舎開設年月日	平成17年4月1日
庁舎延べ床面積	SRC(一部鉄ｺ)造4階建　6,892㎡

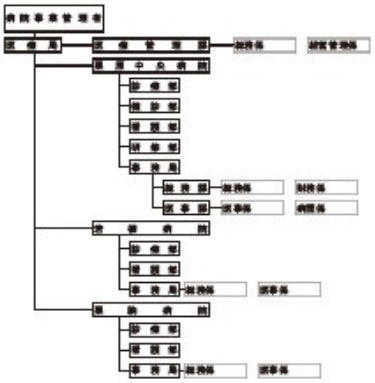
市役所案内図

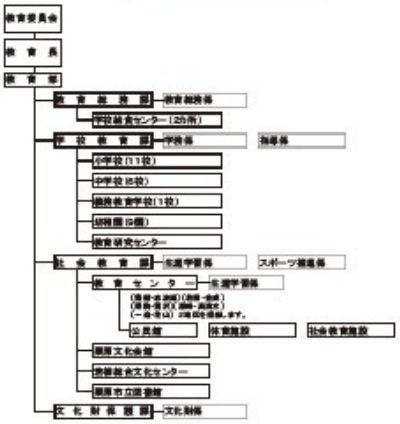
【 JR東北新幹線くりこま高原駅下車、バス15分 】

支所・出張所数　支所　10箇所　出張所　1箇所


議会
議会事務局
選挙管理委員
市長
副市長
総務部
総務課
人事課
財政課
管財課
契約係
市民税係
固定資産税係
収納係
危機対策課
防災係
企画部
企画政策係
定住促進係
市政情報課
広報紙係
デジタル行政推進室
デジタル行政推進係
市民協働課
市民協働係
市民生活部
市民課
市民係
環境課
環境政策・施設係
生活環境係
クリーンセンター
斎苑センター
福祉事務所
社会福祉課
社会福祉係
障害福祉係
生活支援係
はげまし学園
子育て支援部
子育て支援係
保育サービス係
こども家庭センター
こども家庭係
保育所(9カ所)
介護福祉課
介護保険係
認定調査係
健康推進課
保健指導係
訪問相対係
保健推進室
地域医療係
(健康増進係)(健康・温泉)
(一般・母以)
高清水診療所
塩崎診療所
関沢診療所
花山診療所
農林振興部
農政振興部
企画係
推進係
林業畜産課
林業振興係
畜産振興係
農村整備課
計画調整係
農地整備係
商工観光部
産業戦略課
企業誘致係
企業戦略係
観光振興課
観光プロジェクト係
観光交流係
塩原マインパーク
ジオパーク推進室
ジオパーク推進係
建設部
建設課
管理係
建設係
道路係
建築住宅課
建築係
住宅係
都市計画課
都市計画係
都市整備係
市民サービス部
市民係
福祉係
産業施設係
(福祉、保険、保育)
市民サービス課
市民福祉係
産業施設係
(高齢者、一般、国保、年金、生活保護の受付)
上下水道部
総務課
庶務係
お客様係
施設課
給水係
水道施設係
下水道施設係
会計管理者
会計課
出納・検査係


消防本部
総務課
総務係
指令係
予防課
予防係
塩原消防署
庶務係
警防係
予防係
救急係
救助係
通信係
塩原分署
庶務係
警防係
予防係
救急係
通信係
北分署
庶務係
警防係
予防係
救急係
通信係
南出張所
警防係
予防係
救急係
西出張所
警防係
予防係
救急係


病院事業管理者
医療局
医療管理課
総務係
経営管理係
塩原中央病院
診療部
検診部
看護部
研修部
事務局
総務課
総務係
財務係
医事係
病院係
塩崎病院
診療部
看護部
事務局
総務係
医事係
黒磯病院
診療部
看護部
事務局
総務係
医事係


教育委員会
教育長
教育部
教育総務課
教育総務係
学校給食センター(2カ所)
学校教育課
学校係
指導係
小学校(11校)
中学校(5校)
義務教育学校(1校)
幼稚園(9園)
教育研究センター
社会教育課
生涯学習係
スポーツ振興係
教育センター
生涯学習係
(塩原・古湯館)(塩原・金枝)
(塩原・今沢)(塩原・高原文)
(一般・母以)
公民館
体育施設
社会教育施設
塩原文化会館
塩原温泉文化センター
塩原市立図書館
文化財保護課
文化財係

選挙管理委員会
事務局
農業委員
事務局
農業
農業委員会
事務局
農地調整係